



診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver.3.0

2章 準備 利益相反(COI)

改訂のポイント

2021年11月13日
公益財団法人 日本医療機能評価機構
EBM医療情報部
奥村 晃子

要点 1. 日本医学会 作成 「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」への準拠

- 2017年3月に、日本医学会が新たに、「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス」を公開
- マニュアル2020は、基本的な考え方やCOI申告項目について、日本医学会が作成・提供する上記ガイダンスおよび「COI管理ガイドライン」(2020年3月改定)に準拠

要点 2. COI開示対象を明記

➤ 個人的COI開示対象者

当該診療ガイドライン作成に携わるすべての個人

➤ 組織的COI開示対象者

- 診療ガイドライン作成主体（学会、研究会等）
- 当該診療ガイドライン作成に携わる個人の所属組織

要点 3. COI管理チェックリストを追記

➤ COI管理フローに基づく手順項目を提示

→ COI管理チェックリスト参照

(1) 診療ガイドライン統括委員会の設置



(10) COI申告内容の変更受付および情報更新

要点 4. COI開示・管理の基本的な考え方と 対応の要点を明記

- COI開示・管理の目的はCPG作成過程の透明性の確保
- 経済的COI以外のCOI(学術的COI等)についても対応
- 診療ガイドライン利用者がアクセス可能な情報開示
- COIを有する場合の対応が本質的な課題



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

Minds

<https://minds.jcqhc.or.jp/>

Minds Tokyo

GRADE

Center